

# 個人投資家向け情報提供

## 1. 評価対象企業（30社）

トライアルホールディングス、味の素、三越伊勢丹ホールディングス、ティーケーピー、日産化学、三井化学、野村総合研究所、塩野義製薬、中外製薬、第一三共、富士フィルムホールディングス、出光興産、コスモエネルギーホールディングス、神戸製鋼所、UACJ、セガサミーホールディングス、ミネベアミツミ、本田技研工業、良品計画、BuySell Technologies、バンダイナムコホールディングス、アシックス、三井物産、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャルグループ、東京海上ホールディングス、三井不動産、九州旅客鉄道、日本航空、ソフトバンク

（証券コード協議会銘柄コード順）

## 2. 評価方法等

### (1) 評価対象企業の選定

優良企業選定の評価対象企業は、本年度の各業種（17業種）および新興市場銘柄についての評価結果において、それぞれ上位1割（評価対象企業の数を10で割った数（小数点第1位を切上げ））に入った企業のうち、2024年7月から2025年6月までの間において、個人投資家向け会社説明会を開催した30社とした。

### (2) 評価分野の構成

評価分野	本文中の略称	評価項目(注1)数	配点
①個人投資家向け会社説明会の開催等	個人投資家向け会社説明会	4	15
②ウェブサイトにおける開示等	ウェブサイト	9	65
③事業報告書等(注2)の内容	事業報告書等	3	20
		16	100

(注1) 具体的な評価項目の内容および配点は後掲。

(注2) 直近事業年度について、個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、わかりやすい解説を行っているIR関連資料（事業報告書、株主通信、アニュアルレポート、統合報告書等）の中で、会社側から提示されたいずれか1種類。

### (3) 評価方法

評価項目（16項目）のうち、個人投資家向け会社説明会の開催回数等4項目についての評価は、各評価対象企業にアンケート調査を実施し、その回答結果を基に評点を付した。残りの12項目の評価は、ディスクロージャー研究会「個人投資家向け情報提供専門部会」の委員（14名）が行い、最終評価は両者の評点を合算して行った。

## 3. 評価結果

### (1) 総括（「個人投資家向け情報提供における評価比較総括表」は後掲）

本年度の評価対象企業は、上記2.(1)のとおり選定しており、昨年度から相当程度入れ替わっている。また、項目内容・配点の一部を昨年度から見直している。このため、昨年度（評価対象企業31社）と同列には比較できないが、本年度の総合評価平均点は79.1点（昨年度80.3点）となった。その内訳は、評価点80点台が16社（昨年度21社）、70点台が11社（昨年度8社）、70点未満3社（昨年度2社）となった。

3つの評価分野の平均得点率（評価対象企業の平均点／配点（以下省略））を見ると、個人投資家向け会社説明会が74%（昨年度79%）、ウェブサイトが79%（昨年度80%）、事業報告書等が84%（昨年度81%）となり、2つの評価分野で昨年度を下回った。

## (2) 評価対象企業に対するアンケート結果を基にした評価

- ① 評価対象企業へのアンケート結果を基に評価した4項目について見ると、個人投資家向け会社説明会に関しては、昨年7月から本年6月までの1年間の平均開催回数は、3.1回（昨年度3.3回）であり、5回以上開催は8社あった。経営トップが説明を行っている企業は、評価対象企業30社中20社（67%）で、その割合は昨年度（42%）を大きく上回った。
- ② 「各種説明会（個人投資家向け説明会を除く）の内容は、ウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できること」については、視聴できる企業が26社（87%）で、その割合は昨年度（90%）を下回った。

## (3) 専門部会委員による評価

専門部会委員は、ウェブサイト等における開示内容が一般投資家に理解できるように具体的にわかりやすく説明、記載されているか、また、利用しやすいように工夫がされているかといった観点から、12項目について評価を実施した。

### 【個人投資家向け会社説明会】

- (a) 「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していますか」（平均得点率72%〔昨年度76%〕）

### 【ウェブサイト】

- (b) 「IRに関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつわかりやすく工夫されていますか」（平均得点率85%〔昨年度同率〕）
- (c) 「個人投資家向けサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ、わかりやすく工夫されていますか。また、IR情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか」（平均得点率79%〔昨年度同率〕）
- (d) 「事業内容（主力商品、主力サービス等）が具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。また、不祥事等があった際に、適切な情報開示や具体的な対応策を掲載していますか。」（平均得点率82%〔昨年度同率〕）
- (e) 「資本コストを意識した経営の実現に向けた対応を開示し、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。」（平均得点率69%）（昨年度は評価対象企業へのアンケート項目であったが、本年度より専門部会委員による評価に変更した。）
- (f) 「ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料（個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む）について」
  - A 「業績の動きが、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率83%〔昨年度80%〕）
  - B 「経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題等を踏まえて、具体的にかつ、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率83%〔昨年度81%〕）
  - C 「ESG（人的資本、人権を含む）、社外取締役との対話について、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。（平均得点率77%〔昨年度78%〕）
- (g) 「ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答（FAQ）は、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等、全体的に充実し、わかりやすいですか」（平均得点率64%〔昨年度67%〕）

## 【事業報告書等】

- (h) 「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ、理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか」(平均得点率 86% [昨年度 84%])
- (i) 「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG や人的資本に関する情報や取組みも含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていますか。」(平均得点率 82% [昨年度 81%])
- (j) 「業績の動きがわかりやすく(読み手が理解しやすいように)説明されていますか」(平均得点率 87% [昨年度 80%])

## (4) 上位3企業の評価概要

### **第1位 三菱UFJフィナンシャル・グループ**(ディスクロージャー優良企業[5回目]、総合評価点 88.6点)

- ① 同社は、**個人投資家向け会社説明会**が第1位(得点率(以下省略)95%)、**ウェブサイト**が同得点第1位(86%)、**事業報告書等**(MUFG Report 2025(統合報告書))は第2位(91%)となった。
- ② **個人投資家向け会社説明会**においては、評価対象企業に対するアンケート項目(全3項目)全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく(一般投資家に理解できるように)、かつ充実していること」が、最も高い評価となり、これらの結果、この分野で第1位となった。これらに関連して、会社の強みや成長戦略についての説明が分かりやすいとの声が寄せられたほか、対談形式で、個人投資家を代表して質問しているような感じが良いとの声や、個人投資家説明会用資料はわかりやすく作られているうえに、配信動画は視聴スピードを調整できるよう、工夫が凝らされているとの声があった。
- ③ **ウェブサイト**においては、「経営目標・経営戦略が、会社の強み(業界シェアや他社との差別化等を含む)や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていること」が同得点第2位となり、同項目を含む「ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料(個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む)」(3項目)が第2位となった。これらの結果、この分野で第1位となった。これらに関連して、自社の強み(業界シェア、商品・サービス、グローバル展開、アライアンス等)と経営課題(外部環境、収益構造、競争・規制変化等)を十分に踏まえ、具体的かつわかりやすく整理されているとの声が寄せられた。
- ④ **事業報告書等**においては、「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていること」が同得点第1位となった。これに関連して、図表・グラフの多用、要素の整理、色・文字・見出しの強調などにより、非常に読みやすく・理解しやすく作成されているとの声があった。また、「業績の動きがわかりやすく(読み手が理解しやすいように)説明されていること」は第4位となった。これに関連して、利益の変動要因が整理され、外部環境と本業の収益力強化の双方を理解できる構成になっているとの声があった。

### **第2位 ソフトバンク**(ディスクロージャー優良企業[初受賞]、総合評価点 87.9点[昨年度比+6.0点])

- ① 同社は、**個人投資家向け会社説明会**が同得点第2位(93%)、**ウェブサイト**が同得点第5位(85%)、**事業報告書等**(「統合報告書 2024」)が第1位(93%)となった。
- ② **個人投資家向け会社説明会**においては、評価対象企業に対するアンケート項目(全3項目)全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく(一般投資家に理解できるように)、かつ充実していること」(同得点第4位)が90%以上の得点率となり、この分野で同得点第2位となった。これらに関連して、事業概要や成長戦略についての説明がわかりやすく、写真やグラフを用いており見やすいとの声や、AIを軸とした新たな事業展開を説明し、成長の方向性を投資家に具体的に伝えているとの声もあった。
- ③ **ウェブサイト**においては、「事業内容(主力商品、主力サービス等)が具体的にわかりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていること。また、不祥事等があった際に、適切な情報開示や具体的な対応策を掲載していること」が同得点第2位、「ESG(人的資本、人権を含む)、社外取締役との対話について具体的に

わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていること」が同得点第1位となり、これらの結果、この分野で第5位となった。これらに関連して、PayPay、ソフトバンク光、Yahoo・LINE等、消費者にも知名度の高い事業が明快に示されている点を評価する声や、独立社外取締役比率の過半確保や女性比率向上を明示し、ガバナンス強化と多様性推進を具体的に示しているとの声が寄せられた。なお、資本政策についての説明が簡潔に示されており理解を助けるが、もう少し詳しいとお良いとの声があった。

- ④ **事業報告書等**においては、「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG や人的資本に関する情報や取組みも含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていること」（第1位）が得点率90%以上となった。これに関連して、自社の強みやサービス、今後の成長戦略が明確に表現、ESG に注力する姿勢もうかがえる内容との声があった。また、「業績の動きがわかりやすく（読み手が理解しやすいように）説明されていること」は同得点第2位となった。これに関連して、売上や利益の推移に加え、セグメントごとの業績、KPI、増減要因などをグラフ・表・注釈を活用してシンプルかつ体系的に説明しており、業績の動きがひと目で分かるとの声があった。

### **第3位 第一三共（ディスクロージャー優良企業〔初受賞〕、総合評価点 87.0点〔昨年度比+5.1点〕）**

- ① 同社は、**個人投資家向け会社説明会**が同得点第2位（93%）、**ウェブサイト**が第3位（86%）、**事業報告書等**（「コーポレートウェブサイト：個人投資家の皆さま（財務ハイライト）」）が第14位（86%）となった。
- ② **個人投資家向け会社説明会**においては、評価対象企業に対するアンケート項目（全3項目）全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していること」（同得点第4位）が90%以上の得点率となり、これらの結果、この分野で同得点第2位となった。これらに関連して、難しい領域であるが、個人投資家に配慮し平易でわかりやすい説明となっているとの声が寄せられた。また、過去の個人投資家説明会のアーカイブを残している点を評価する声もあった。
- ③ **ウェブサイト**においては、「事業内容（主力商品、主力サービス等）が具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていること。また、不祥事等があった際に、適切な情報開示や具体的な対応策を掲載していること」が最も高い評価となり、「経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていること」が同得点第2位となった。これらに関連して、市場環境や製薬会社のビジネスモデルの記載もあり、医薬品の知見が少ない投資家にも親切との声や、グローバル展開と新薬開発を軸にした戦略が明確で、業界内での競争優位性や課題への対応も丁寧に説明されているとの声が寄せられた。
- ④ **事業報告書等**においては、「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG に関する情報も含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていること」が同得点第14位となった。これに関連して、どちらかというとガバナンスなどの説明が中心であり、事業戦略との繋がりが感じられるとより良いとの声があった。

上記の**三菱UFJフィナンシャル・グループ、ソフトバンク、第一三共**の3社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、これら3社を本年度の個人投資家向け情報提供における優良企業として選定した。

以上

# 2025年度 個人投資家向け情報提供における評価比較総括表

(単位:点)

順位	評価項目	総合評価 (100点)	1. 個人投資家向け会社説明会の開示等		2. ウェブサイトにおける開示等		3. 事業報告書等の内容	
			評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
			(配点 15点)		(配点 65点)		(配点 20点)	
			個人投資家向け会社説明会の開示等		個人投資家向けサイトの有無や、事業内容、各種説明会資料の分かりやすさ等9項目		経営方針、中・長期経営ビジョンや業績動向の説明の分かりやすさ等3項目	
	評価対象企業							
1	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	88.6	14.3	1	56.1	1	18.2	2
2	9434 ソフトバンク	87.9	14.0	2	55.4	5	18.5	1
3	4568 第一三共	87.0	14.0	2	55.8	3	17.2	14
	評価対象企業(30社) 評価平均点	79.11	11.08		51.21		16.82	

## 2025年度の具体的評価項目および配点（個人投資家向け情報提供）

【評価期間：2024年7月～2025年6月】

1. 個人投資家向け会社説明会の開催等（15点）	配点
(1)過去1年間（前年7月から本年6月までの間）に個人投資家向け会社説明会を何回開催していますか。 [A.2回以上：2点、B.1回：1点]	2
(2)個人投資家向け会社説明会は、リアル（対面）形式と、オンライン形式の両方で行っていますか。 [A.両方で行った：1点、B.リアル（対面）形式のみ：0点、オンライン形式のみ：0点]	1
(3)個人投資家向け会社説明会は、経営トップが説明を行いましたか。 [A.経営トップが行った：2点、B.経営トップ以外が行った：1点]	2
(4)(5)ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していますか。 【個人投資家向け会社説明会に限定して評価】 [1点～10点の整数で評価。掲載なし：0点]	10
2. ウェブサイトにおける開示等（65点）	配点
(1)IRに関するウェブサイトは、探しやすい・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ、わかりやすく工夫されていますか。 [1点～4点の整数で評価]	4
(2)個人投資家向けサイトは、探しやすい・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ、わかりやすく工夫されていますか。また、IR情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか。 [1点～8点の整数で評価。個人投資家向けサイトがない場合：0点]	8
(3)事業内容（主力商品、主力サービス等）が具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。また、不祥事等があった際に、適切な情報開示や具体的な対応策を掲載していますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(4)資本コストを意識した経営の実現に向けた対応を開示し、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。（会社から提示された当該開示資料のURLを参照して、委員が評価する。）	6
(5)ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料（個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む）について	
A 業績の動きが、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
B 経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
C ESG（人的資本、人権を含む）、社外取締役との対話について、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(6)各種説明会（個人投資家向け会社説明会を除く）の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できますか。 [A.できる：2点、B.できない：0点]	2
(7)ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答（FAQ）は、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等全体的に充実し、わかりやすいですか。 [1点～5点の整数で評価。FAQの掲載がない場合：0点]	5
3. 事業報告書等の内容（注）（20点）	配点
(1)全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか。 [1点～5点の整数で評価]	5
(2)経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESGや人的資本に関する情報や取組みも含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(3)業績の動きがわかりやすく（読み手が理解しやすいように）説明されていますか。 [1点～5点の整数で評価]	5

網掛けの項目は、評価対象企業へのアンケート結果をもとに評点

（注）直近事業年度について、個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、わかりやすい解説を行っているIR関連資料（事業報告書、株主通信、アナユルレポート、統合報告書等）の中で、会社側から提供のあったいずれか一種類を評価対象とする。

個人投資家向け情報提供専門部会委員

部会長	林 健太郎	野村證券
部会長代理	宇田川 克己	いちよし証券
	岩崎 利昭	水戸証券
	大坂 隼矢	野村證券
	小松崎 直樹	丸三証券
	澤田 遼太郎	東海東京インテリジェンス・ラボ
	柴田 光浩	大和証券
	嶋田 和昭	岩井コスモ証券
	鈴木 英之	SBI証券
	高取 千誉	大和証券
	高山 裕介	SMBC日興証券
	二宮 雅之	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
	降幡 剣士	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
	山本 信一	岡三証券